

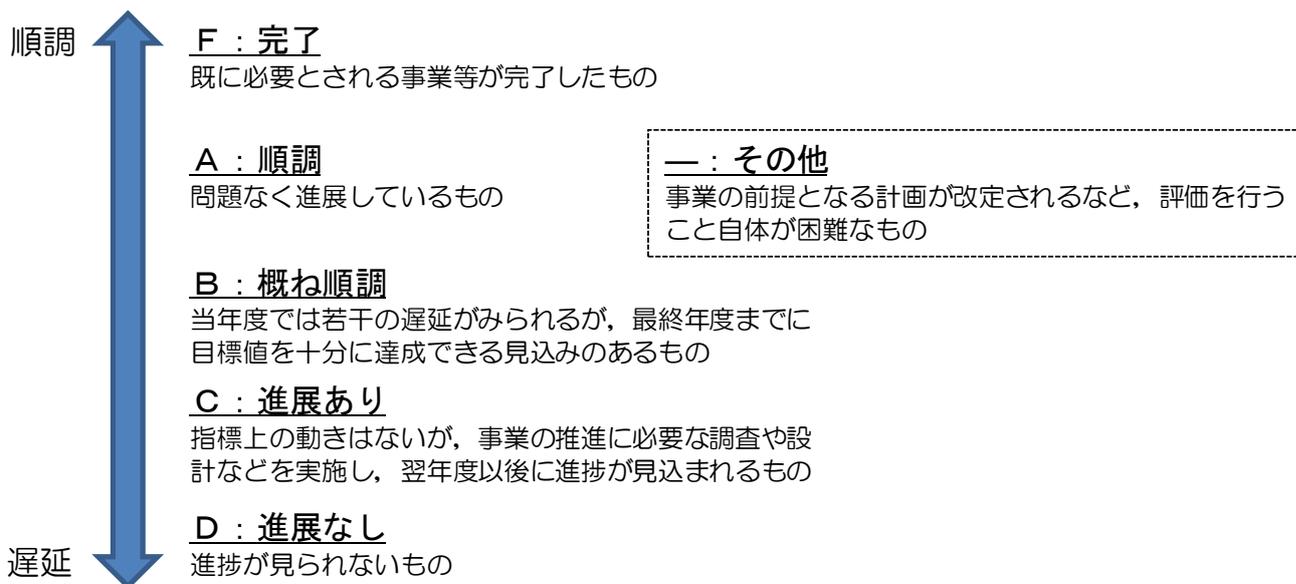
「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」の進捗状況（平成 26 年度末）について

1 改定計画の進行管理について

- ・ 改定計画においては、その進行管理の手法を計画中に明示していないものの、計画の策定過程において、「進行管理に係る指標の充実」を掲げております。また、「より実効性を高める計画とするため」に、12の基本施策に加えて、28の基本事業にも指標を設定しております。
- ・ 以上より、計画行政の適正な推進という観点から、各年度終了後に指標の進捗状況やその評価、今後の取組の方向性等について整理を行い、公表することとしています。

2 評価の手法について

- ・ 年度ごとの評価については、指標の推移を軸に評価するものであり、指標主管課による主観的評価を基本としますが、一定の客観性を確保するため、局内における協議や上下水道事業懇話会においてご意見をいただき、最終的な評価を確定する形とします。
- ・ 評価の基準については、以下のとおりとします。



3 平成 26 年度における改定計画の進捗状況及び評価について **別紙 1**, **別紙 2** 参照

(1) 基本施策について

12の基本施策については、それらの進捗を測るために、15の指標を設定しており、評価は以下のとおりです。

・「F：完了」：1指標（「合流式下水道緊急改善率」（基本施策 2-2））

・「A：順調」：7指標

・「B：概ね順調」：5指標

・「C：進展あり」：2指標

⇒ 「有収率（下水道）」（基本施策 2-3）については、実績値の落ち込みが見られましたが、さまざまな取組を推進していること、また、「基幹施設建築物の耐震化工事着手率」（基本施策 3-2）では、指標上は0%ですが、工事に向けた設計を行うなど取組が進捗していることから「進展あり」と評価しました。

（2）基本事業について

基本施策の下の28の基本事業には、32の指標を設定しており、評価は以下のとおりです。

・「F：完了」：2指標（合流式下水道に係る「貯留施設設置数」（基本事業 2-1-(3)）

（「会計基準見直しへの対応」（基本施策 6-2-(1)）

・「A：順調」：20指標（計画の柱1・3・6を中心）

・「B：概ね順調」：3指標

・「C：進展あり」：7指標

⇒ いずれも、平成26年度中に事業の実施に向けた事前調査や設計、また事業指標の見直しなどを予定しており、今回は指標上の進捗が確認できないものの、計画期間中に目標値の達成に向けた進捗が期待できる状況となっています。

（3）総括

以上の基本施策、基本事業の指標値の推移から、いずれの指標についても、ほぼ4分の3において「A：順調」または「B：概ね順調」という評価となったことから、計画全般としての進捗状況は良好なものと判断しています。

また、残りの基本施策・基本事業についても、「D：進展なし」と評価される項目がないことから、今後の計画期間中に進捗が期待できるものと見込んでおります。

ただし一部の事業において、一定の取組を行っていますが、それが実績値の上昇に結びついていない指標もあることから、これらについては効果的な取組となるよう努めていきます。